

平成 27 年 2 月 6 日  
国土交通省中部地方整備局  
沼津河川国道事務所

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

## お知らせ

### 東駿河湾環状道路開通後の整備効果(第6報) ～三島塚原ICから函南塚本ICの開通から1年、幅広い波及効果が発現～

#### 1. 概要

東駿河湾環状道路は、平成21年7月27日に沼津岡宮IC～三島塚原IC間が開通し、平成26年2月11日に三島塚原IC～函南塚本IC間が開通されたことで、伊豆方面へのアクセス性が向上し、環状内の交通混雑が緩和されました。

今回、三島塚原IC～函南塚本IC間の開通から1年経過し、観光や地域産業にもたらした効果や地域の変化を取りまとめましたので、お知らせいたします。

#### 観光支援

- ・ 周辺市町の観光来訪者数が増加
- ・ 東駿河湾環状道路を活用した観光誘致
- ・ 伊豆半島の観光圏域が拡大

#### 産業支援

- ・ 物資輸送時間の短縮・バラツキが改善
- ・ 沿線に産業が立地・建物立地件数（函南町）が増加

#### 交通安全

- ・ 沿線市町の交通事故が減少

#### 環境負荷の低減

- ・ 貨物車の二酸化炭素排出量が削減

#### 救急支援（災害時）

- ・ 災害発生時の救急活動を支援

#### 2. 配布資料

- ・ 資料1 開通がもたらした効果と地域の変化
- ・ 参考資料【イメージ】東駿河湾環状道路の開通により発現する効果

3. 配布先：静岡県政記者クラブ、沼津記者会、三島記者クラブ、下田記者クラブ

4. 解禁日：指定なし

5. お問い合わせ先：

〒410-8567 沼津市下香貫外原3244-2

国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所 副所長(道路) 油井 康夫  
調査第二課長 澤田 守

TEL: 055-934-2010、FAX: 055-934-2015

事務所HP: <http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>

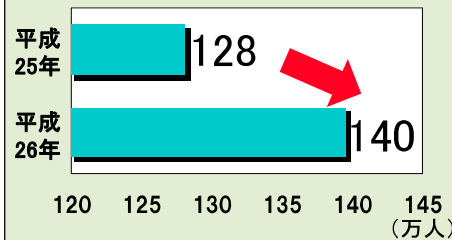
道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）



# 周辺市町の観光来訪者数が増加

- 東駿河湾環状道路周辺の**主要観光施設の入込客数が増加**しています。
- これにより、**開通区間周辺の市町の観光来訪者数が増加**しました。

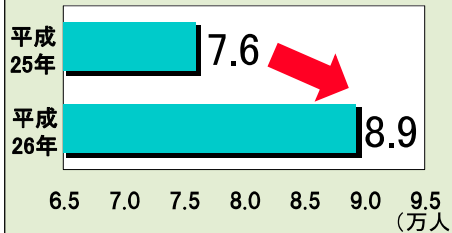
## ■三嶋大社の参拝者数



約1.1倍に!



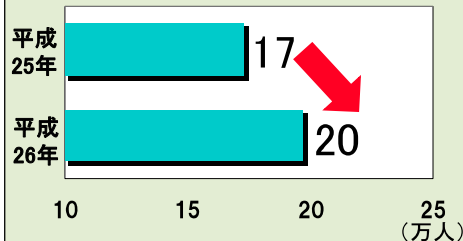
## ■江間いちご狩りセンターの観光来訪者数\*



約1.2倍に!



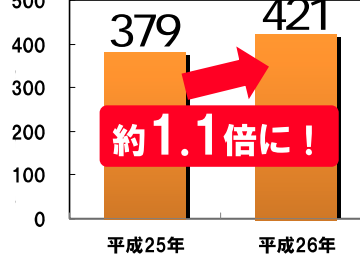
## ■伊豆の国パノラマパークの観光来訪者数



約1.1倍に!



## ■観光レクリエーション客数 (三島市、伊豆の国市、函南町)



約1.1倍に!

出典：主要観光施設入込客数と観光レクリエーション客数 開通前：平成25年3月～9月を集計、開通後：平成26年3月～9月を集計  
 (\*江間いちご狩りセンターは、平成25年3月～5月を集計)

観光レクリエーション客数とは、観光施設(地点)、スポーツレクリエーション施設、行祭事およびイベント等への入場者・参加者などを示す

# 東駿河湾環状道路を活用した観光誘致を実施

○伊豆長岡温泉旅館組合では、東駿河湾環状道路を活用した観光誘致や宿泊者向けのキャンペーン等を実施しており、観光期における宿泊客数が増加しました。

## ■観光PRのチラシ配布



## ■宿泊者向けのキャンペーン



### 【キャンペーン概要】

期間：平成26年7月11日  
～8月31日まで  
対象：車で来訪し伊豆長岡温泉旅館組合加盟旅館の宿泊客（15,000台限定）  
内容：片道分の伊豆中央道（通行料）をキャッシュバック

出典：伊豆長岡温泉旅館協同組合ホームページ



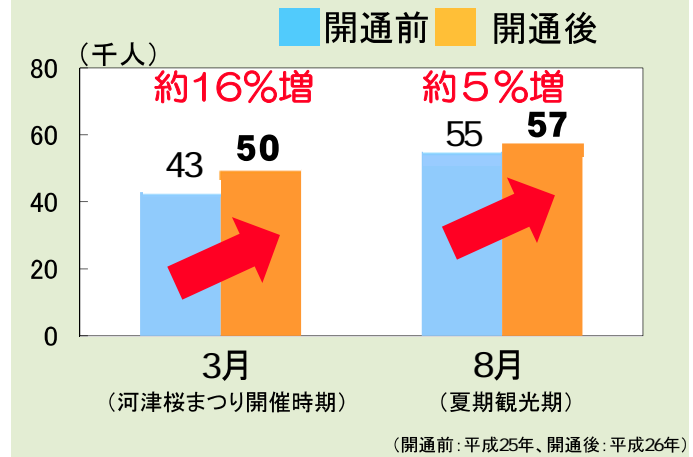
●東駿河湾環状道路の開通は、地元にとってチャンスである。道路を活かすも殺すも我々次第。様々な取り組みを行っており、良い方向へ向いている。

### 伊豆の国市観光協会のコメント



出典：観光協会ヒアリング

## ■伊豆長岡温泉宿泊者数の変化

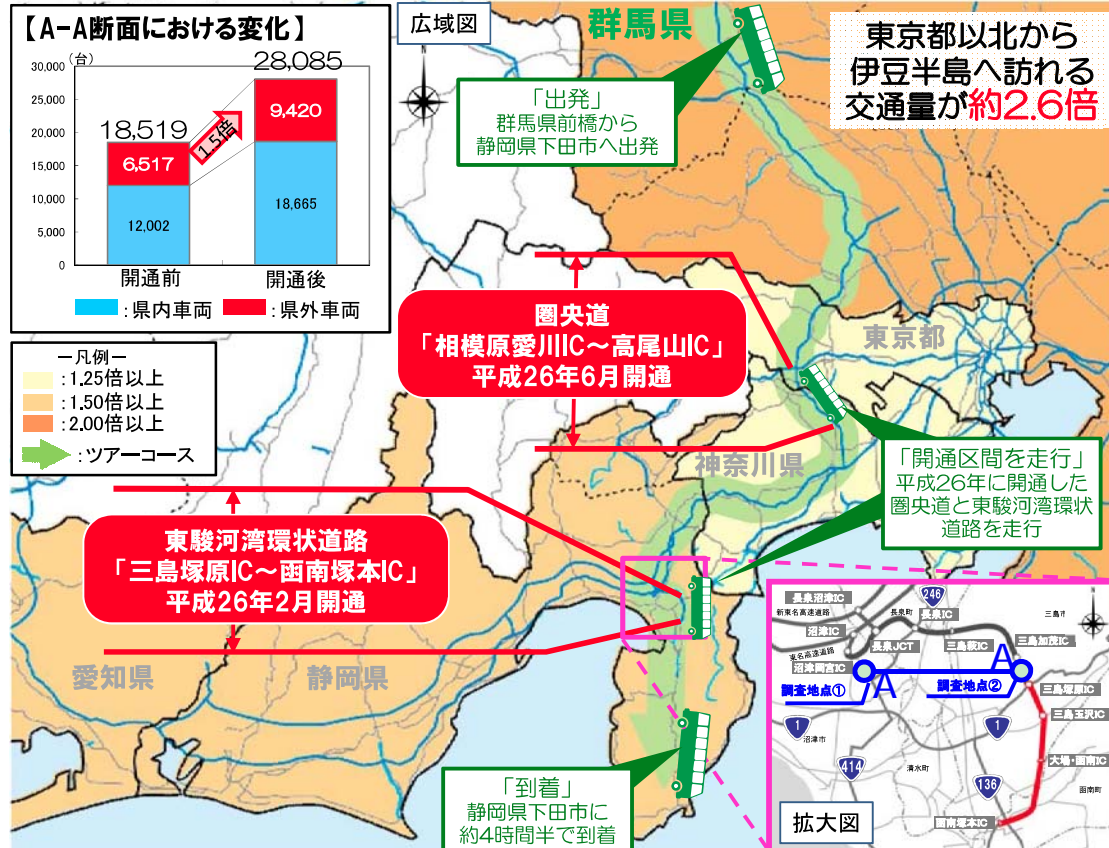


出典：伊豆長岡温泉旅館協同組合における宿泊客数データ

# 伊豆半島の来訪圏域が拡大

- 東駿河湾環状道路および圏央道の開通後、伊豆方面への**県内外車両が増加し、東京都以北では約2.6倍増加**しています。
- 北関東の旅行会社や新聞社等を対象に、下田温泉旅館組合による伊豆半島の観光地を巡るツアーが開催され、「**近くなった**」という声を頂いております。また、ツアーに参加者のエフエム群馬では、**ホームページにツアー内容や伊豆半島までのアクセス性向上を紹介**しています。

## 伊豆半島方面に流入する交通量の変化



出典：ナンバープレート調査：開通前平成22年8月14日（土）、開通後平成26年8月13日（水）調査断面の南進方向流入部にて昼間12時間（7時～19時）観測  
 静岡県は、ナンバープレートが浜松・静岡・沼津・伊豆・富士山（一部山梨県を含む）を集計

## 北関東へ伊豆半島の観光PRを実施

下田温泉旅館組合が、東駿河湾環状道路および圏央道の開通を機に、北関東の旅行会社や新聞社、FM放送局等を対象として、伊豆半島の観光地を巡るツアーを開催。

伊豆は遠いイメージで、旅の候補から外れていたが、**近くなって驚き**でした。



参加者

↓ ツアー開催後

## エフエム群馬が伊豆半島への観光を紹介

エフエム群馬がホームページでツアー内容や伊豆半島までのアクセス性向上を紹介。

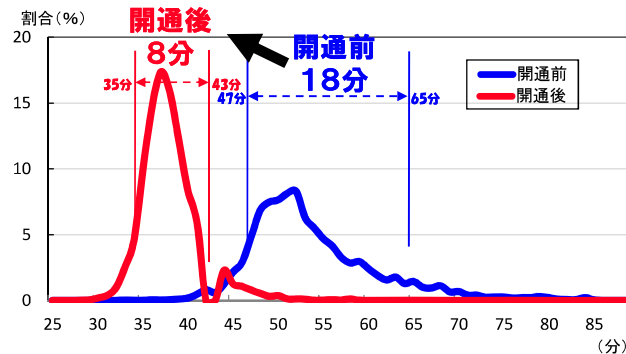
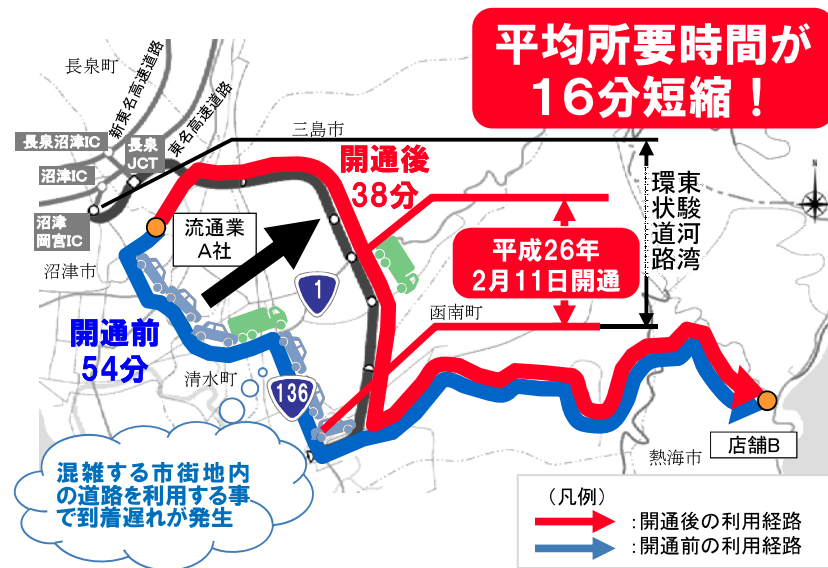


出典：エフエム群馬ホームページ

# 物資輸送時間の短縮・バラツキが改善

- 東駿河湾環状道路を利用することで**所要時間が約16分短縮**、**所要時間のバラツキも改善され**物流の効率化や信頼性が向上しました。
- 「ドライバーの負荷が軽減した、遅送がなくなった」**など、実感の声があがっています。

## ■伊豆半島内の各店舗に1日3便商品を配送する流通業A社の場合

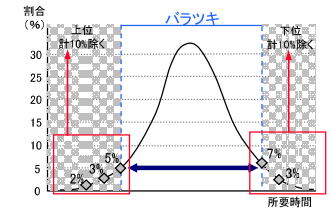


**所要時間のバラツキが改善!**

出典:プロブデータ(開通前 平成25年3月~11月、開通後 平成26年3月~11月の昼間12時間(7時~19時))

### ■時間のバラツキ\*について

- バラツキは上位・下位10%を除く所要時間差
- バラツキが小さい場合は、いつも同じ所要時間で目的地まで行ける
- バラツキが大きい場合は、目的地までの所要時間がばらばらである



\*特異値(所要時間の上位10%、下位10%)を除いた所要時間のバラツキ



写真 三島塚原IC付近の状況(三島塚原IC方面を望む)(H27.1.18撮影)

- 配送時間が短縮し、ドライバーの負荷が軽減しました。
- 店舗での商品の受入時間が安定し、夏など観光期においても“納品待ち”時間が短縮され、人員配置の効率化が図られました。
- 遅配がなくなり、お惣菜など、“売れる時間”に確実に販売できるようになりました。

### 流通業A社のコメント



出典:企業ヒアリング結果平成26年10月 4

# 沿線に産業が立地・建物立地件数(函南町)が増加

- 東駿河湾環状道路の周辺市町では、**物流、食品加工の大型拠点の立地が予定**されており、**民需拡大の動きがみられて**おります。
- また、今回開通区間沿線の函南町では**建物立地件数が約1.1倍に増加**しております。

## 【建設予定】 イオン長泉プロセスセンター(駿東郡長泉町)

イオングループ約80店舗を受け持つ物流拠点で、同施設で食品加工も実施(敷地面積32,000m<sup>2</sup>:平成27年6月稼働予定)

東名、新東名ICや東駿河湾環状道路が近く、取引においてメリットがあり、同地に立地した。さらに伊豆縦貫道の開通により、伊豆半島への安定供給の実現に期待している。

出典:マックスバリュートーキョウ東海ヒアリング



## 三島青果市場(三島市)



道が狭くトラック輸送が困難だった旧三島青果市場から、幹線道路へのアクセスの良い三島市山新田へ平成24年11月に移転。

東駿河湾環状道路の整備によるアクセス面での利点等を考慮し、現在の場所へ移転を決めました。開通後は時間短縮の効果を実感していると共に、生産者からもアクセス向上の声を聞いています。

出典:三島青果市場ヒアリング



## 三ツ谷工業団地(三島市)

三ツ谷地区を新たな産業拠点整備区域として、有事に備えた災害に強い工業団地を整備予定。

## ベアードブルーイング(伊豆市)

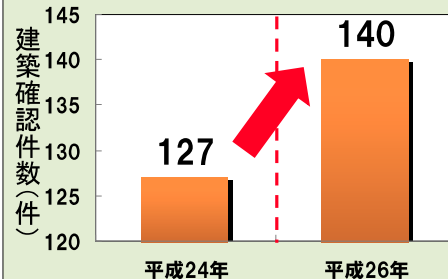


ワールドビアカップ3冠の地ビール製造会社。自然を意識した「農園型ブルーワリー」と販路拡大を目指し、天城北道路の大平IC近傍において平成26年6月に新工場を稼働

## 建築確認件数(函南町)

建物立地が約**1.1倍に!**

三島塚原IC~函南塚本IC  
平成26年2月11日開通



出典:函南町資料 平成24年、平成26年における3月~12月の件数

# 沿線市町の交通事故が減少

- 今回の開通により市街地を通過する交通が東駿河湾環状道路に転換され、**環状内道路(国道1号、国道136号)の死傷事故件数が減少**しました。
- これにより、**開通区間沿線市町(三島市、函南町)の死傷事故件数\***が**約2割減少**しました。

※死傷事故件数:死亡事故および重軽傷事故の発生件数

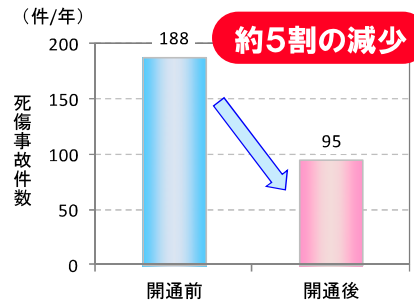


- (凡例)
- : 国道1号(八幡西交差点～三島塚原IC)の件数集
  - : 国道136号(南二日町交差点～大場川南交差点)の件数集計
  - : 三島市・函南町の件数集計エリア(すべての道路)

## 環状内道路や沿線市町における死傷事故件数の減少

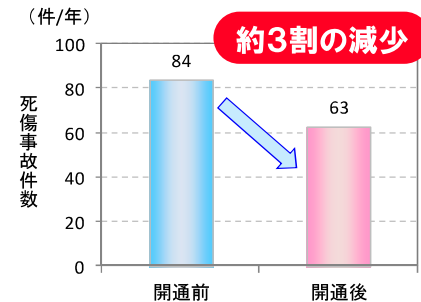
### 国道1号(環状道路の内側区間)

(八幡西交差点～塚原IC交差点)

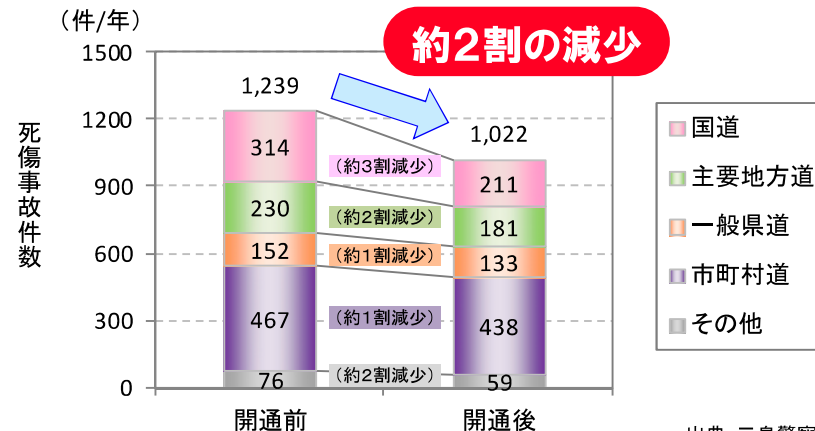


### 国道136号(環状道路の内側区間)

(南二日町IC交差点～大場川南交差点)



### 開通区間沿線市町(三島市、函南町)のすべての道路



出典:三島警察署資料

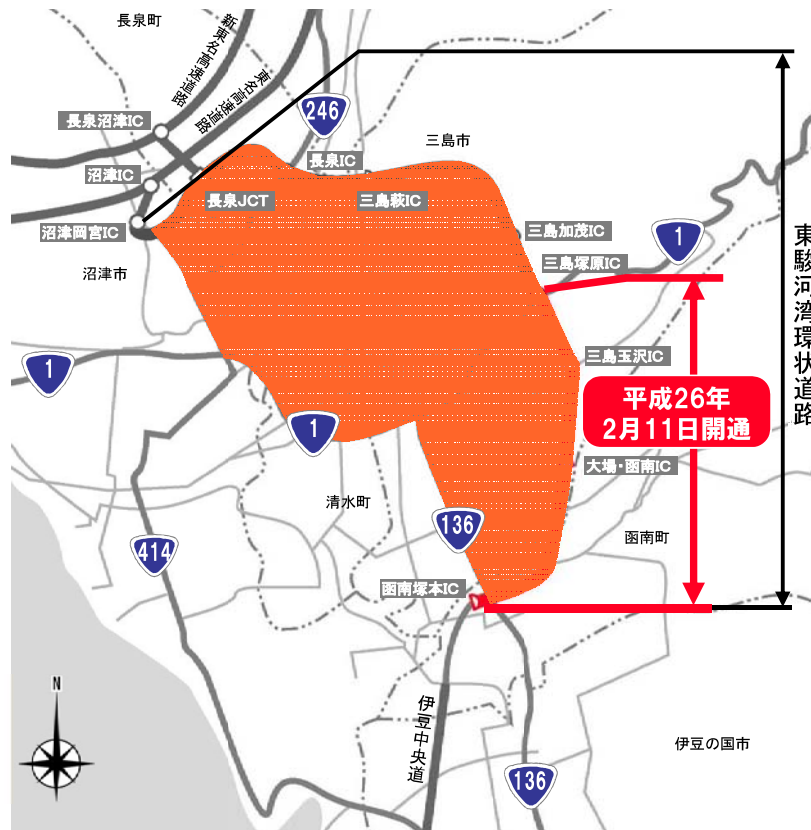
(開通前:平成25年1～12月、開通後:平成26年1～12月)



# 貨物車の二酸化炭素排出量が削減

- 市街地を通過する交通が東駿河湾環状道路に転換されたことにより、**環状内道路の渋滞損失時間が約2割削減**されました。
- また、環状内道路を利用する貨物車1台あたりの**二酸化炭素(CO2)排出量が約1割削減**し、環境負荷の低減が図られました。

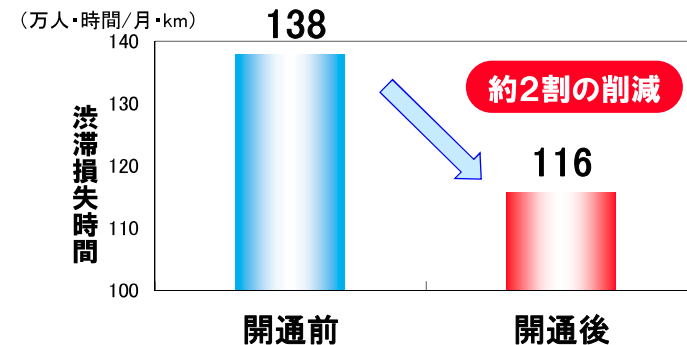
## ■環状道路内側の渋滞損失時間と二酸化炭素排出量が削減



(凡例)

■ : 渋滞損失時間および二酸化炭素排出量算出エリア(県道以上の路線を対象)

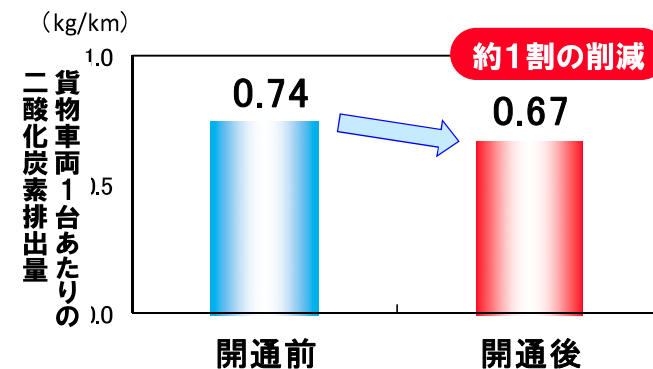
## 渋滞損失時間の削減



出典: プローブデータ・H22センサより算出

(開通前: 平成25年10月平日平均、開通後: 平成26年10月平日平均)

## 貨物車1台あたりの二酸化炭素排出量の削減



出典: 貨物車プローブデータ(開通前: 平成25年10月平日、開通後: 平成26年10月平日)

(燃料消費量を計測する機器を搭載し集計エリア内を走行した貨物車の1台当たりの1ヶ月における燃料消費量に二酸化炭素排出係数を乗じて算出。サンプル数開通前920サンプル、開通後1,020サンプル)

# 災害発生時の救急活動を支援

- 南海トラフ巨大地震発生時等の**救援活動において、伊豆半島南部へ迅速かつ確実に到達する効果が期待**されるとの声をいただいております。
- また、広域防災拠点への救援活動を支援し、**地域の安全安心に繋がっている**との声をいただいております。

## ■災害発生時の救急活動での活用



- 東日本大震災時には、停電により市街地の信号が消灯し、大混乱が生じた。
- 災害時には、信号がなく、市街地を迂回できる高規格道路があるということは、その先のエリアに**迅速・確実に到達するためには大きな意味がある。**
- 迅速性・機動力から陸路の整備はかせない。**

### 自衛隊のコメント

出典：陸上自衛隊板妻駐屯地ヒアリング

- 広域防災拠点に指定されている愛鷹広域公園へのアクセスが良くなり、これまでより安心できるようになった。

### 三島市職員コメント

出典：三島市職員ヒアリング

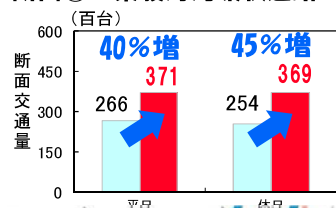
【参考】

# 交通が転換し、環状内道路の渋滞が緩和

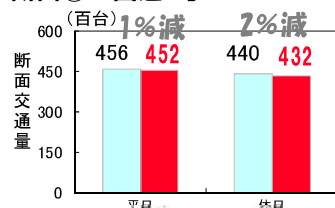
- 東駿河湾環状道路の交通量は今回の開通前に比べ、平日で約40%、休日で約45%増加しており、開通区間は平日で約30,000台/日、休日で約30,400台/日が利用しています。
- 開通区間に並行する国道136号の交通量は、平日で約22%、休日で約16%減少しました。
- 東駿河湾環状道路の内側の地域において、去年の同時期に比べて渋滞が緩和・解消されました。

## 交通量の変化

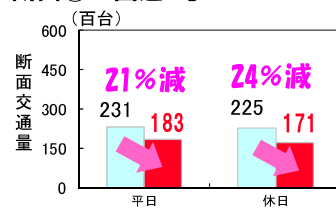
断面①：東駿河湾環状道路



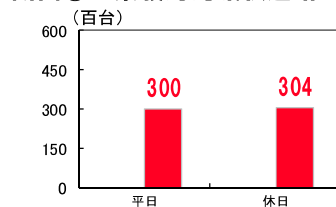
断面②：国道1号



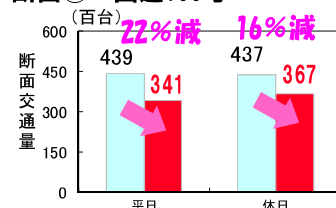
断面③：国道1号



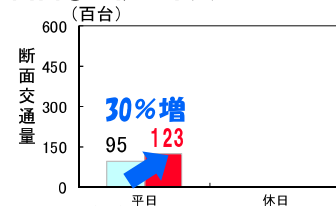
断面④：東駿河湾環状道路



断面⑤：国道136号



断面⑥：伊豆中央道



交通量は下記期間における平日休日別の平均交通量

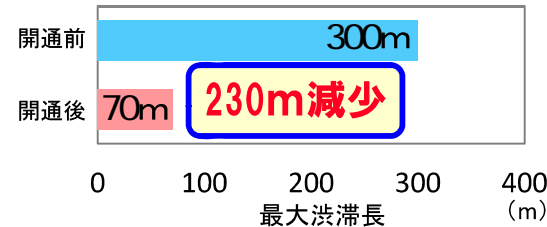
- 開通前：H25.3.1～12.31 ※地点②については平日 H25.11.19 (火) 休日 H25.11.24 (日)
- 開通後：H26.3.1～12.31 ※地点②については平日 H26.11.13 (木) 休日 H26.11.15 (土)

## 渋滞長の変化

地点A：国道1号 三島塚原IC交差点（西側）



地点B：国道136号 大場川南交差点（北側）



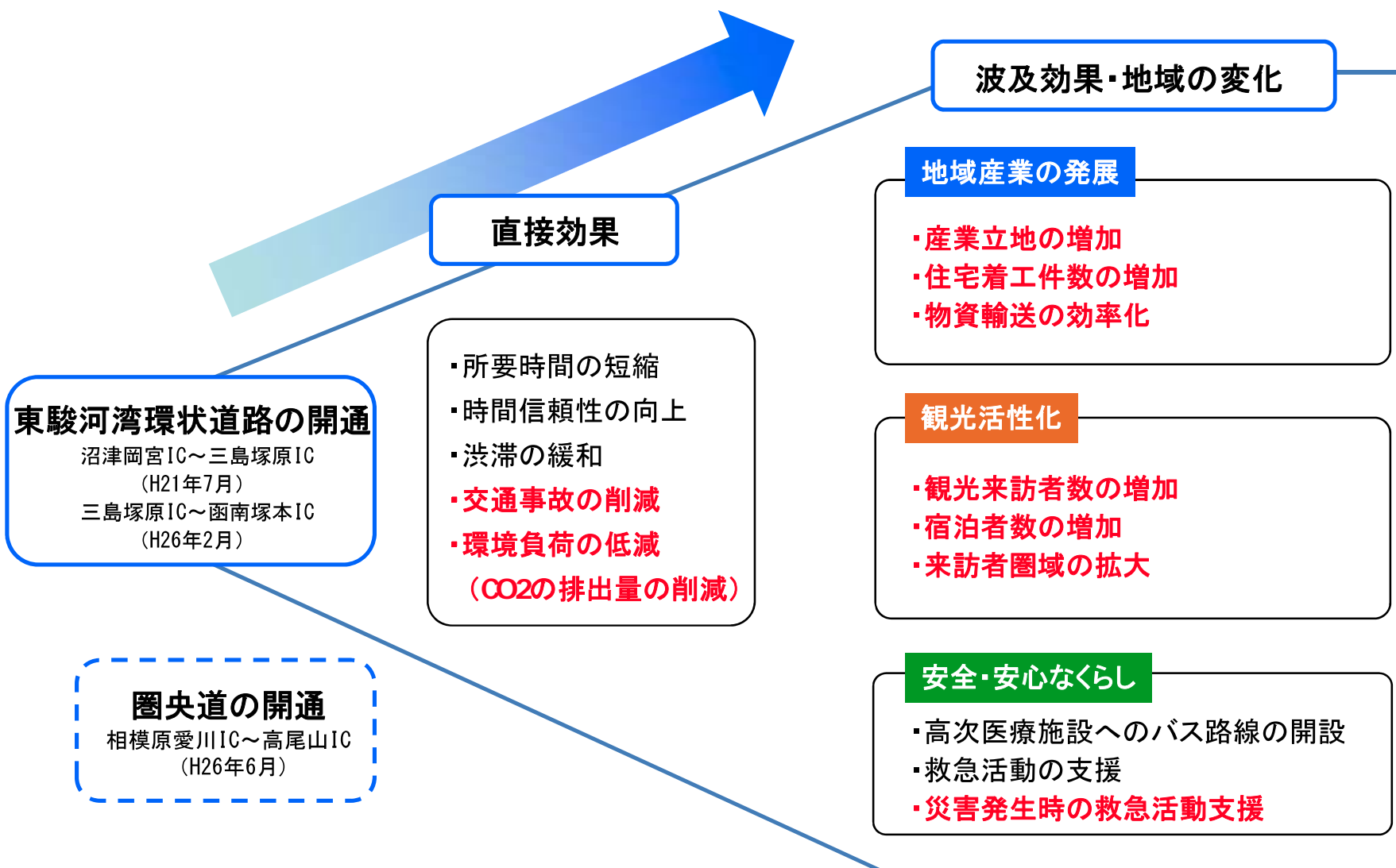
地点C：県道三島裾野線 三島北高校前交差点（南東側）



渋滞長は下記調査日における最大渋滞長

- 開通前：平成25年11月19日（火）  
11月24日（日）の12時間調査（7時～19時）
- 開通後：平成26年11月13日（木）  
11月15日（土）の12時間調査（7時～19時）

# 【イメージ】東駿河湾環状道路の開通により発現する効果



※黒文字:既に記者発表した整備効果、赤文字:今回記者発表する整備効果